

「韓国語教育の現状とCLIL」

—成人学習者の韓国語教育を中心に

金興重 (Kim HungJung)
目白大学・大学院修士課程2年
韓国語講師

1. はじめに

日本での韓国語教育は2000年代に入り、ドラマや音楽を通じたブームをきっかけとして韓国語の学習者が増加した。堅実に学習を続けて資格試験に合格したり、留学したりする学習者も少なくない。

本稿では2000年以後の日本語母語話者の成人学習者を中心にCLILの指導法について考えることにする。

2.日本における韓国語教育

- * 「民族教育」

在日韓国人・朝鮮人(以下、在日韓国人と表記)を対象にする

- * 「外国語としての韓国語」

日本人を対象とする

2.日本における韓国語教育

*「民族教育」

在日韓国人・朝鮮人(以下、在日韓国人と表記)を対象にする

2.1「民族教育として韓国語」

- * 戦後、在日韓国人の民族教育として自然発生的
- * 1965年以後、韓国政府から教師派遣などの支援
- * 現在も在日大韓民国民団で韓国語教室を開催している
- * 在日大韓民国民団で運営する教室を「ハングル学校」※注1
全国45都道府県のうち39の地域、141箇所のハングル学校(民団新聞2018.3.28)
現在、在日韓国人より日本人の方が多くハングル学校に在籍

注1.「ハングル学校」韓国の「在外同胞財団」に登録されている学校の名称

2.1「民族教育として韓国語」

* 全国45都道府県のうち39の地域、141箇所のハングル学校(民団新聞2018.3.28)

現在、在日韓国人より日本人の方が多くハングル学校に在籍

2.2 「外国語としての韓国語」

- * 韓国政府は、2001年「外国語としての韓国語」の海外普及を掲げた。韓国語教員養成や韓国語教育に関するオンラインでの情報提供にも力を入れている。



2.2「外国語としての韓国語」

- * 日本では、1984年NHKでハングル講座が開講

2.日本における韓国語教育

* 「外国語としての韓国語」 日本人を対象とする

チラシ

The collage features numerous flyers and posters for Korean language education in Japan. Key elements include:

- Top Left:** A flyer for '韓国語教室' (Korean Language Classroom) with a QR code and contact information.
- Top Center:** A flyer for '韓国語教室 生徒募集' (Korean Language Classroom Student Recruitment) with a QR code and contact information.
- Top Right:** A flyer for '韓国語に興味をもたれている皆様!!' (Dear those interested in Korean!!) with a QR code and contact information.
- Middle Left:** A flyer for '韓国語教えます' (I teach Korean) with a QR code and contact information.
- Middle Center:** A flyer for '韓国語・中国語' (Korean/Chinese) with a QR code and contact information.
- Middle Right:** A flyer for '韓国語講座 生徒募集' (Korean Language Lecture Student Recruitment) with a QR code and contact information.
- Bottom Left:** A flyer for '韓国語教室 in 大和高田' (Korean Language Classroom in Ohtachi and Takachi) with a QR code and contact information.
- Bottom Center:** A flyer for '無料 韓国語集中講座' (Free Korean Language Intensive Lecture) with a QR code and contact information.
- Bottom Right:** A flyer for '韓国語教室 生徒募集' (Korean Language Classroom Student Recruitment) with a QR code and contact information.

2.2「外国語としての韓国語」

* 2002年



2.2「外国語としての韓国語」

* 2002年



2.2「外国語としての韓国語」

* 2002年



2.2「外国語としての韓国語」

* 2002年



2.2「外国語としての韓国語」

* 学習者の韓国学習目的

資格試験

留学

ドラマ

音楽

2.2「外国語としての韓国語」

- * 韓流の変化
- * 近年は、音楽が好きな若者がさらに増加し傾向も変化している。それらをきっかけに、韓国語の学習者も増加した。

2.2「外国語としての韓国語」

- * 韓流の変化
- * 近年は、音楽が好きな若者がさらに増加し傾向も変化している。それらをきっかけに、韓国語の学習者も増加した。

2.2「外国語としての韓国語」

* 韓流の変化

* 韓国語学習場所

1. 既存の語学学校以外
 2. 個人経営の韓国語教室
 3. 喫茶店でのマンツーマンレッスン
 4. 地域の文化センターやカルチャーセンターなどでの講座
 5. 個人自学習者
 6. インターネットを駆使した学習者
- 実態を把握することが困難である。

* 「外国語としての韓国語」
日本人を対象とする

18

2.3 韓国語能力試験 (TOPIK)

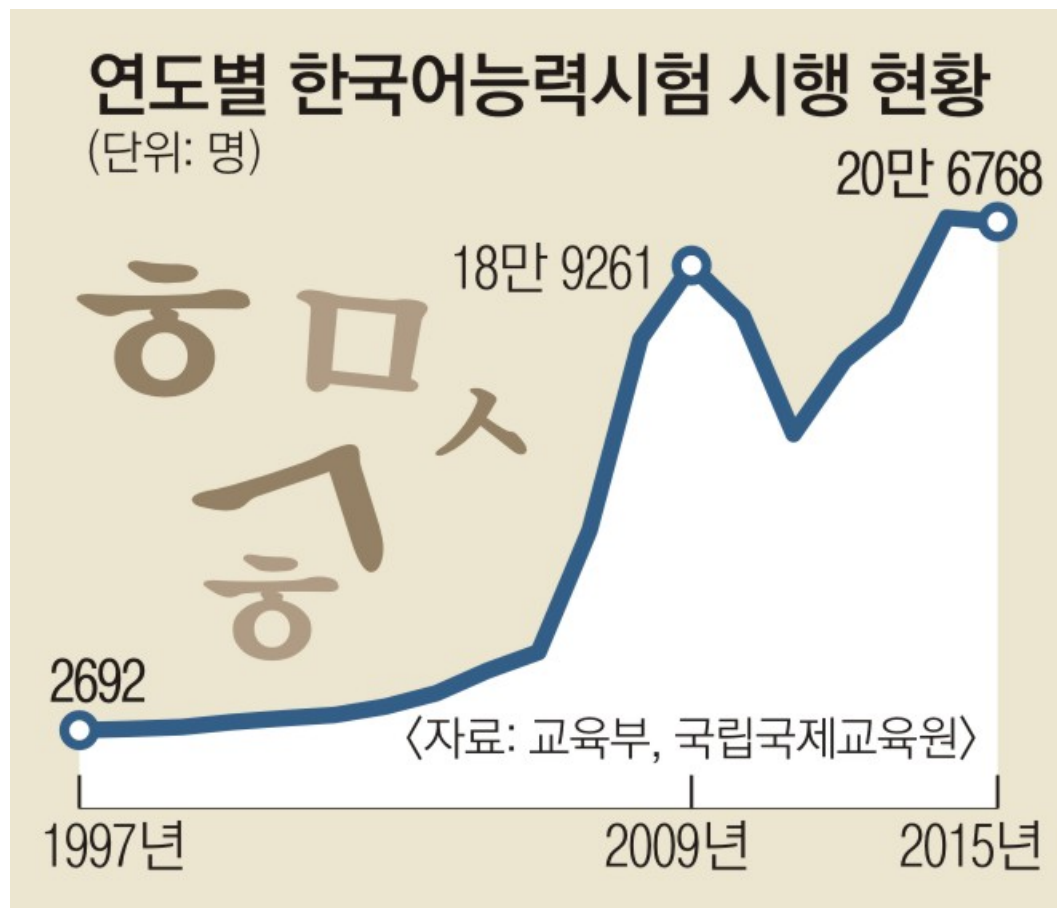
- * 韓国語を母語としない外国人と在外韓国系住民を対象に、1997年に始まった。



2.3 韓国語能力試験 (TOPIK)

- * 韓国語を母語としない外国人と在外韓国系住民を対象に、1997年に始まった。
- * この試験の成績は
 - 1.外国人留学生を対象とする韓国国内の大学の政府の奨学金制度
 - 2.外国人と在外韓国系住民の大学入学
 - 3.韓国の永住権取得

2.3 韓国語能力試験 (TOPIK)



* TOPIKの受験者数は、20年で約140倍

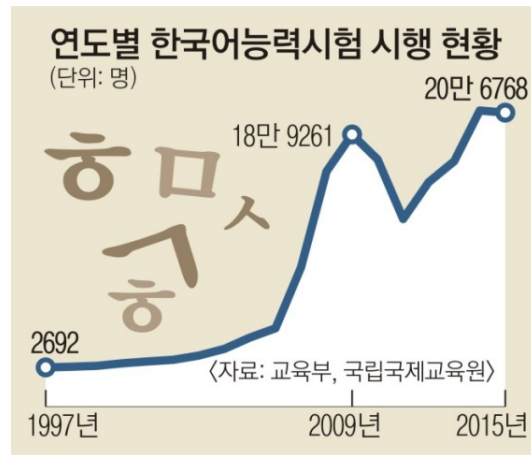
1997年 2692人

2015年 20万6768人

2016年 25万141人

2017年 29万638人

2.3 韓国語能力試験 (TOPIK)



* 実施回数と国

2006年まで毎年1回の実施だったが、回数が増え続け、2015年からは年6回実施されている。試験を実施する国も1997年には韓国、日本、ウズベキスタン、カザフスタンの4カ国だったが、現在は73カ国・地域に増えた。(ソウル連合ニュース2017.12.14)

3.成人学習者の韓国語教育 (韓国語教授法)

- * 本稿では成人学習者の韓国語教育現場の視点から、
自らの経験を基に韓国語教育及び指導法について考えたい。

3.1 韓国語教授法

- * 成人学習者の韓国語学習の目的は、言葉の特徴や韓国文化やコミュニケーションと関連する項目が高い割合を示す※注2
「韓国旅行」「映画」「コミュニケーション」「文化理解」
- * 成人学習者の言語教育は韓国文化と関連している。したがって、望ましい言語教育を行うためには、言語と文化の統合教育が要求される。

※注2 金由那「韓国・朝鮮語教育の現状と学習者の意識に関する調査研究」
https://nagoya.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=6441...id. (最終閲覧日2018.6.20)

3.1 韓国語教授法

* 文法中心学習法

しかし、日本語母語話者で成人の学習者の中には、既存の学校学習に慣れているため文法中心の学習形式を望んだり、受け入れ易い場面が多く見られる。

3.1 韓国語教授法

* 韓国での韓国語教授法

韓国政府はコミュニケーション中心教授法 (Communicative language teaching) を進めている。しかし、この方法は会話が強調されるため、文法を軽視していると認識されることが否めない。

韓国国内で行われている「外国語としての韓国語」の教授法は、日本での教授法として適用されることが難しい。

3.2 成人学習者におけるCLILの試み

- * 日本での韓国語教育の指導法
- * 環境要因

クラスや学習レベルにより学習者の状況に合わせた指導法を行っている。

韓国国内でのコミュニケーション中心教授法とは違う日本での学習は、韓国語に接する機会がほぼない現状を踏まえると会話能力や言語機能を伸ばすことは現実的ではない。

3.2 成人学習者におけるCLILの試み

- * 一般的な成人学習者は、週一回60～90分授業の限られた時間に、教師がどこまで伝えられ理解してもらうかなど悩むところである。
- * それぞれの経験や興味がある分野を持ち、自らの積極性を持って学習する特徴を持っている。従って、成人学習者には伝統的な学校教育と異なる必要がある。
- * 語学学習の 学習者の目的に合わせた学習者中心のカリキュラムを構成する必要がある。

3.2 成人学習者におけるCLILの試み

- * 成人学習者それぞれの経験や興味がある分野を取り入れ、言語機能をバランスよく文法学習はもちろんのこと、韓国文化や「韓国旅行」「映画」「コミュニケーション」「文化理解」など多岐にわたる内容も取り入れた授業が増えてきている。
- * 成人学習者のそれぞれの経験に基づいて内容を考えて、目的言語である韓国語で意見を述べられるような環境づくりが必要である。
- * 「教える」ことから「学習支援」への方向性の転換の中でCLILの指導法が適していると考えられる。

3.3 CLIL指導法に取り入れた韓国文化教育

* 課題1

日本の学校教育の体制は、日本の地理的条件や歴史的背景など、さまざまな要因が考えられるが、日本における「外国語としての韓国語」の教授法のあり方も見過ごすことはできない。

他の外国語と同様、文法中心的な学習が多く、学習者のレベルを分けて行われている韓国語教育において、どのようにCLILを適用すれば、教育者や学習者が共にスムーズな語学習得への可能性を探ることができるだろうか。

3.3 CLIL指導法に取り入れた韓国文化教育

* 課題2

日本における韓国語教育の現状では、CLILは浸透しておらず、CLILという言葉もまだ認知度が低い。また言語学習が主になる中級レベルでも、4Cの要素が十分に機能していない面も否定できない。

- * CLIL指導法を取り入れた韓国文化教育での課題としてあげられるのは、
- * 学習者の言語能力のバラツキ
- * 教材の確保
- * 教師の負担

3.3 CLIL指導法に取り入れた韓国文化教育

対策

1. 言語能力のバラツキ

言語能力のバラツキは、グループ活動（協学）で補える。成人学習者の場合、それぞれの経験により異文化の理解や応用、分析など自分の意見をまとめる4CのCognitionの確立が出来ている。

教師は学習者個々人の持つ情報（語学レベルのバラツキ）を把握しグループを作る必要がある。語学能力のバラツキはグループ活動（協学）の中で身につけることが出来る。教師はサポート役になる。

3.3 CLIL指導法に取り入れた韓国文化教育

対策

2.教材の確保

韓国文化は、既存のテキストを活用するのには限界があり、オーセンティック素材である新聞や雑誌、ウェブサイトなどを活用し教科書に頼らずに教材の確保が出来る。

他の科目とは違い文化教育では自由会話や討論する協学、そして文化体験やフィールドワークを経験することで、レベル高い文化教育が期待できる。

よってCLILの指導法が適していると言える。

3.3 CLIL指導法に取り入れた韓国文化教育

対策

3.教師の負担

学習者の言語能力のバラツキ、教材の確保などすべての授業運営が教師の負担であり、教師の力量が問われてくる。

CLILの指導法を取り入れる教師が多くなれば情報交換や教材共有など出来るコミュニティを作り、教師の負担を軽減しながらCLILのさらなる向上へと歩みを進めることが期待できる。

4.まとめ

- * 今回、成人学習者の韓国語教育現場の視点から、CLILを取り入れた韓国文化学習を振り返ると「外国語としての韓国語」の教授法のあり方として適用できるのではないかと考える。

4.まとめ

- * CLILを取り入れた韓国文化学習
授業学習テーマにおける新しい情報や単語などは、レベルに関係なく提示でき、また韓国語で学ぶという大きな達成感も与えることができる。
- * 教室での使用言語の使い分け
教室での使用言語はすべて韓国語で行うことは困難であるため、日本語と韓国語の使い分けを試みた。

学習内容に関する知識を深める言語は、目的言語である韓国語で、自分の考えを広げて討論する段階(協学)は、日本語を可能に設定した。また、自分の言葉で表現(発表)する場面では韓国語にした。

韓国語での発表の際は、グループ活動の中で互いに補い、教師がサポートすることにより相乗効果も期待できる。

4.まとめ

- * 今後、課題の克服に向けて、段階的に積み重ねることが韓国語でコミュニケーションが出来ることに発展することが可能になる。
- * 今後、理論研究と授業での実践の両面からCLIL導入を進め、自らも修正を重ねることが必要である。

<参考文献>

- * 1.池田真、渡部良典、和泉伸一（2011）『CLIL内容言語統合型学習第1巻』上智大学出版.
- * 2.笹島茂(編著) (2011)『CLIL 新しい発想の授業—理科や歴史を外国語で教える!?!—』三修社.
- * 3.金由那2004「韓国・朝鮮語教育の現状と学習者の意識に関する調査研究」
- * 4.張彤「CLIL 型中国語授業の試み」(最終閲覧日2018年4月18日)
- * https://www.slideshare.net/engnet/clil-72491077?next_slideshow=1
- * 5.民団新聞2018-03-28 第2895号 (最終閲覧日2018年4月18日)
- * ソウル連合ニュース2017.12.14「韓国語能力試験の受験者 20年で140倍に＝累計200万人突破」
- * <http://japanese.yonhapnews.co.kr/headline/2017/12/13/0200000000AJP20171213004200882.HTML> (最終閲覧日2018.4.18.)
- * 東洋経済新聞2000.11.3「<韓国文化>日本における韓国語教育の課題」
- * 박갑수 「한글학교를 통한 재외동포 한국어 교육의 현황과 대책」
- * http://www.korean.go.kr/nkview/nklife/2008_3/2008_0302.pdf (最終閲覧日2018.6.20.)
- *



ありがとうございました